

第4回東京の自治のあり方研究会部会 会議概要

日時 平成26年3月28日(金) 午後5時30分から
場所 都庁第一本庁舎 25階 115会議室
出席者 砥出部会長、西川委員、山本委員、高木副部会長、岩波委員、
名倉委員

会議の概要

○検討事項

(1) 2050年までの地域別の将来人口推計(500mメッシュ)について

2010年から2050年までの東京の年齢階級別常住人口及び世帯類型別の世帯数を500mメッシュ地域ごとに独自推計した資料について、事務局から説明があり、意見交換を行った。

今回行った人口推計について、区側委員から、「区部、市部、町村部というまとめ方ではなく、例えば区部で言えば、東部、西部、周辺部、湾岸地域といった形でそれぞれの地域がどのように変化していくのか、もう少し深く分析すべきではないか」、「人口推計の分析がこの部会の重要なポイントになると思うので、区部の中をもう少し細かく見て課題などを研究会に提示しないと部会をつくった意味が薄れてしまうのではないか」との意見が出された。また、市側委員から、「多摩地域は、区部に近い武蔵野市や三鷹市と西多摩地域ではまったく様相が異なるので、一つにまとめることはできない」との意見が出された。

上記の意見等を踏まえて、今回行った人口推計について、もう少し突っ込んだ分析が可能かどうか事務局で検証するとともに、各委員から、今回の人口推計を踏まえた課題について意見を出してもらい、再度、部会で議論することになった。

<資料>

- ・【資料2】2050年までの地域別の将来人口推計(500mメッシュ)

(2) 東京の自治のあり方研究会部会とりまとめに向けて(都事務局案)

「東京の自治のあり方研究会部会 これまでの議論を踏まえた方向性(都事務局案)」について、事務局から説明があり、意見交換を行った。

都の事務局案について、区側委員から、「これまでの部会で出された意見や有識者ヒアリングの内容が必ずしも十分に記述されていないのではないか」、「8ページの報告文案の約1ページを合併に関する記述に割いている一方で、広域連携の取組に関する記述が少ないのではないか」、「研究会の中間報告と同様のフレーズが散見されるが、これでは部会として研究会に上げていく意味がなくなってしまうのではないか」、「いずれにしろ、都の事務局案ではなく、4団体の事務局でとりまとめた案が必要である」との意見が出された。また、町村側委員から、「効率的・効果的

な行財政運営のあり方という点、どうしても合併の話にあると思うが、合併ありきのイメージがする」、「町村部は、中山間部や島しょ部といった特殊事情がある。合併のメリット・デメリットも他道府県とは異なった視点があると思うので、もう少し整理する必要があるのではないか」との意見が出された。

これに対して、都側委員から、「4団体の事務局で案をとりまとめることは当然である」、「部会は、研究会の中間報告を踏まえて設置されたものなので、同じフレーズの部分があっても仕方がない」、「合併といっても、中山間地域と大都市部とでは、意味あいや効果はまったく違うので、その辺りに十分留意して報告書をまとめていく必要がある」との意見が出された。

上記の意見等を踏まえて、今回は、人口推計の詳細分析を見ながら、4団体の事務局でとりまとめた報告書の案をもとに部会のとりまとめに向けた議論を行うことになった。

<資料>

- ・【資料3】東京の自治のあり方研究会部会 これまでの議論を踏まえた方向性(都事務局案)

(3) その他

都及び区市町村にかかる国の動向等について、事務局から、総務省「基礎自治体における行政サービス提供に関する研究会 報告書」及び内閣府・経済財政諮問会議「選択する未来委員会 会議資料」について説明があった。

<資料>

- ・【参考資料1】基礎自治体における行政サービス提供に関する研究会 報告書(総務省)
- ・【参考資料2】「選択する未来」委員会 会議資料(内閣府)